

## 有機高分子化合物;その製造または化学的加工;それに基づく組成物

注

(1) このクラスは下記の高分子化合物それ自体は包含しない:  
ーペプチド, 例. タンパク質, はサブクラス C07K に包含される。

[2012. 01]

ーヌクレオシド基, 例. 核酸, の糖類基でリンクされたリン酸塩またはポリリン酸塩基を別個に持つ化合物で, 2 個以上のモノヌクレオチドユニットを含むものは, グループ C07H21/00 に包含される。[2012. 01]

ー遺伝子工学に関する DNA または RNA, ベクター, 例. プラスミド, またはその分離, 製造または精製はグループ C12N15/00 に包含される。[2012. 01]

(2) 化合物または組成物からなる殺生物剤, 有害生物忌避剤, 有害生物誘引剤または植物生長調節剤は, サブクラス A01P にも分類される。[8]

**多糖類;その誘導体** (グリコシド結合によって相互に結合された5個以下の糖類基を含有する多糖類 C07H;発酵または酵素を使用するプロセス C12P19/00;セルロースの製造 D21) [4]

注

化合物の治療活性は, サブクラス A61P にさらに分類する。[7]  
サブクラス内の索引

セルロースおよびその誘導体.....  
セルロースの予備処理 1/00.....  
エステル 3/00, 5/00, 7/00, 13/00, 17/00.....  
エーテル 11/00, 13/00, 17/00.....  
キシランテート 9/00.....  
その他の誘導体 15/00.....  
セルロースの再生 16/00.....  
でんぷん;分解もしくは非化学的に変性されたでんぷん;アミロース;アミロペクチン 30/00.....  
でんぷん, アミロース, またはアミロペクチンの化学的誘導体  
でんぷんの誘導体 31/00.....  
アミロースの誘導体 33/00.....  
アミロペクチンの誘導体 35/00.....  
他の多糖類 37/00.....

### 製造

1/00 セルロース誘導体を製造するためのセルロースの予備処理  
1/02 ・エステル化のためのセルロースの精製  
1/04 ・・ニトロセルロースの製造用  
1/06 ・エーテル化のためのセルロースの精製  
1/08 ・アルカリセルロース  
1/10 ・・アルカリセルロース製造装置  
1/12 ・・・浸漬装置

1/14 ・・・老成装置  
3/00 セルロース有機酸エステルの製造  
3/02 ・エステル化触媒  
3/04 ・ぎ酸セルロース  
3/06 ・酢酸セルロース  
3/08 ・炭素数 3 以上の一塩基性有機酸の  
3/10 ・・炭素数 5 以上のもの  
3/12 ・多塩基性酸の  
3/14 ・有機酸残基に置換基, 例. NH<sub>2</sub> または Cl, を有する有機酸の  
3/16 ・セルロースの混合有機酸エステルの製造  
3/18 ・・酢酸ー酪酸  
3/20 ・セルロースの繊維構造を保持したままのエステル化  
3/22 ・精製を含む, エステル化の後処理  
3/24 ・・加水分解または老成  
3/26 ・・セルロースエステルの単離  
3/28 ・・・沈でんによるもの  
3/30 ・・安定化  
5/00 セルロース無機酸エステルの製造  
5/02 ・硝酸セルロース  
5/04 ・・精製を含む, エステル化の後処理  
5/06 ・・・硝酸セルロースの単離  
5/08 ・・・安定化  
5/10 ・・・粘度低下  
5/12 ・・・有機液体による水の置換  
5/14 ・硫酸セルロース  
7/00 セルロース有機酸無機酸混合エステルの製造  
9/00 セルロースキシランテートまたはビスコースの製造  
9/02 ・硫化機;溶解機  
9/04 ・連続法  
9/06 ・1 段法  
11/00 セルロースエーテルの製造  
11/02 ・アルキルまたはシクロアルキルエーテル  
11/04 ・・置換炭化水素基をもつもの  
11/06 ・・・ハロゲン置換炭化水素基をもつもの  
11/08 ・・・水酸基含有炭化水素基をもつもの;  
そのエステル, エーテルまたはアセター  
ル  
11/10 ・・・酸基で置換されたもの  
11/12 ・・・・カルボキシル基で置換されたもの  
11/14 ・・・窒素含有基をもつもの  
11/145 ・・・塩基性窒素をもつもの, 例. アミノアルキルエーテル[2]  
11/15 ・・・・カルバモイル基をもつもの[2]  
11/155 ・・・・シアノ基をもつもの, 例. シアノアルキルエーテル[2]  
11/16 ・アリールまたはアラールキルエーテル  
11/18 ・・置換炭化水素基をもつもの  
11/187 ・オレフィン性不飽和基をもつもの[2]  
11/193 ・混合エーテル, すなわち 2 以上の異なるエ

	ーテル基をもつエーテル[2]		シクロアルキル基をもつもの[2]
11/20	・精製を含む, エーテル化の後処理	31/14	・・アリールまたはアラルキルエーテル[2]
11/22	・・単離	31/16	・エーテル—エステル[2]
13/00	セルロースエーテルエステルの製造	31/18	・酸化でん粉[2]
13/02	・セルロースエーテルキサンテート	33/00	アミロースの化学的誘導体の製造[2]
15/00	他のセルロース誘導体または変性セルロースの製造	33/02	・エステル[2]
15/02	・酸化セルロース; ヒドロセルロース; セルロース水和物	33/04	・エーテル[2]
15/04	・・カルボキシセルロース, 例. 二酸化窒素による酸化により製造されたもの	33/06	・エーテル—エステル[2]
15/05	・炭素, 水素, 酸素, ハロゲンおよび硫黄以外の元素を含有する誘導体 (リン酸エステル C08B5/00) [2]	33/08	・酸化アミロース[2]
15/06	・・窒素を含むもの[2]	35/00	アミロペクチンの化学的誘導体の製造[2]
15/08	・セルロースの分別, 例. セルロース結晶の分離[2]	35/02	・エステル[2]
15/10	・セルロースの架橋[2]	35/04	・エーテル[2]
16/00	セルロースの再生[2]	35/06	・エーテル—エステル[2]
17/00	セルロースのエステル化またはエーテル化装置	35/08	・酸化アミロペクチン[2]
17/02	・セルロース有機エステル製造用	37/00	グループ C08B1/00-C08B35/00 に分類されない多糖類の製造; その誘導体 (セルロース D21) [4]
17/04	・硝酸セルロース製造用	A	カラゲナンの誘導体
17/06	・セルロースエーテル製造用	B	キサンタンの誘導体
30/00	でん粉, 分解もしくは非化学的に変性されたでん粉, アミロース, またはアミロペクチンの製造[4]	C	$\beta$ -1,3-グルカンの誘導体
30/02	・予備処理, 例. 原料の粉碎 (予備洗浄のための装置 A23N) [4]	D	ブルランの誘導体
30/04	・抽出または精製[4]	G	その他の多糖類の誘導体
30/06	・乾燥; 成形[4]	H	・硫酸化
30/08	・でん粉懸濁液の濃縮[4]	J	・C, O または H を含有する基の導入
30/10	・でん粉を抽出した材料からの脱水を包含する, でん粉抽出物からの残留物の取り出し[4]	K	・N 含有基の導入
30/12	・分解または非化学的に変性されたでん粉; でん粉の漂白 (でん粉の化学的誘導体の製造 C08B31/00) [4]	P	微生物により直接生産されるもの
30/14	・・冷水に分散可能なまたは予備糊化されたでん粉[4]	Q	動植物組織から直接得られるもの
30/16	・・そのための装置[4]	Z	その他のもの
30/18	・・デキストリン[4]	37/02	・デキストラン; その誘導体[2]
30/20	・アミロースまたはアミロペクチン (その化学的誘導体 C08B33/00, C08B35/00) [4]	37/04	・アルギン酸; その誘導体[2]
31/00	でん粉の化学的誘導体の製造 (アミロースの化学的誘導体 C08B33/00; アミロペクチンの化学的誘導体 C08B35/00) [2]	37/06	・ペクチン; その誘導体[2]
31/02	・エステル[2]	37/08	・キチン; コンドロイチン硫酸エステル; ハ ialuron 酸; その誘導体[2]
31/04	・・有機酸の[2]	A	キチンまたはその誘導体; キトサンまたはその誘導体
31/06	・・無機酸の[2]	Z	その他のもの, 例. ヒアルロン酸またはその誘導体
31/08	・エーテル[2]	37/10	・ヘパリン; その誘導体[2]
31/10	・・アルキルまたはシクロキルエーテル[2]	37/12	・寒天; その誘導体[2]
31/12	・・異種原子で置換されたアルキルまたは	A	アガロースまたはその誘導体
		Z	その他のもの, 例. 寒天またはその誘導体
		37/14	・ヘミセルロース; その誘導体[2]
		37/16	・シクロデキストリン; その誘導体[2]
		37/18	・貯蔵炭水化物, 例. グリコーゲン, イヌリン, ラミナリン; その誘導体[4]